

年 組 () 名前

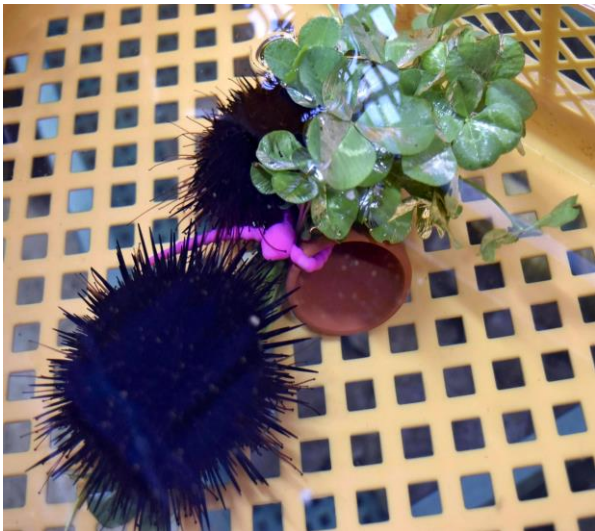
サイン

◆クローバーでウニ養殖挑む

ウニにクローバーを与える養殖方法の実用化に向けた共同研究が、宮城大(仙台市太白区)と石巻市の水産物販売会社「フィッシャーマン・ジャパン・マーケティング」などで行われている。ウニが海藻を食べ尽くして岩礁がむき出しになる「磯焼け」の対策にもなると期待される。

クローバーなどのマメ科の植物を餌にしたウニの養殖技術は、宮城大と九州大の研究グループが開発し、昨年3月に特許を出願した。クローバーを食べたウニは、野生の餌であるコンブを食べた時と同程度に成長し、実の色合いは鮮やかになったという。

クローバーを与えられているウニ



今年1月に始まった今回の共同研究では、宮城大でクローバーの安定栽培方法やウニ生産にかかるコストを調査。同社は「クローバーウニ」の需要や価格を探るため、首都圏や東南アジアの飲食店での市場調査や試験販売を行っている。

宮城大の片山亜優助教(34)は「実入りの悪いウニがお金になる仕組みを作って磯焼けの回復につなげ、東北の漁業復興に貢献したい」と意気込んでいる。

◆宮城県では、宮城大と水産物販売会社はんばいがクローバーを使ってウニを養殖しようと、共同研究を行っています。

【1】クローバーはウニの養殖で何に使われていますか。

【2】この養殖方法は磯焼け対策いそ たいさくにもなると期待されています。磯焼けとは何か説明しましょう。

【3】海の生き物にとって、磯焼けになると、どんな悪いことが起こると思いますか。

(2020年5月2日
読売新聞夕刊より)



©The Yomiuri Shimbun



読売新聞社は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

リオ貧民街 コロナ直撃

ブラジル 感染者世界2位

家は「3密」・外出自粛せず

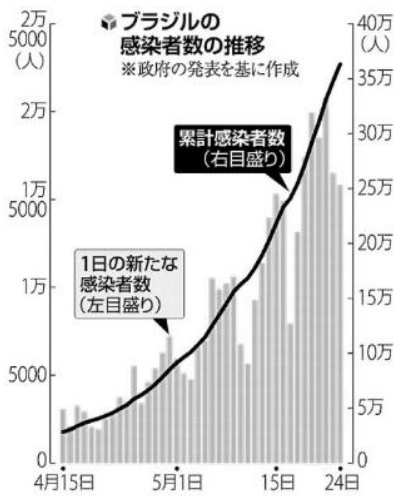
政府対応は迷走

【リオデジャネイロ＝淵上隆悠】ブラジルで、新型コロナウイルスの感染者が36万人を超え、米国に次いで世界で2番目の多さになるなど影響が深刻化している。感染拡大の背景には貧困問題があり、政治の迷走が事態の収束を遅らせることの懸念も出ている。

■ファベラ ジャネイロ市にある国内最大のファベラ「ホシニャ」は、市やリオ州の外呼ばれる貧民街だ。リオデ



外出自粛要請下にもかかわらず、多くの人が往來する貧民街「ホシニャ」のメイン通り（20日、リオデジャネイロで）＝淵上隆悠撮影



ず、大勢の人々が行き交い、活気を失っていない。多くの住民が生活費を稼ぐと仕事に出ているからだ。「あいつも体調を崩したらしいぞ」。顔なじみが集まれば、こうした「感染情報」が格好の話題になるという。市などはホシニャで約1500人が感染したとするが、住民は「もっと多いはずだ」と口をそろえる。東京ドーム約20個分の1000人に10万人以上が暮らすホシニャでは急斜面に小さな家が並ぶ。大家族が多く、密閉、密集、密接の「3密」が感染リスクを高めている。無料の病院もあるが、半月前に体調を崩して受診した男性(60)は「ウイルス検査は受けられなかった」と語った。こうしたファベラは、

国内の都市部周辺に無数にあり、人口約2億1000万人の約6%にあたる計1300万人が暮らしている」とされる。

■国と州亀裂
事態の悪化に対し、政府や州は有効な対策を示せていないのが現状だ。経済を重視するジャイル・ボルソナロ大統領は、感染予防策に無頓着で、4月以降、防疫措置の徹底を訴えた保健相2人が相次いで辞任した。暫定の保健相は、この分野の経験がない、自身と同じ軍出身者を充てた。

コロナ対応を指揮する州知事らとの亀裂も生じている。ボルソナロ氏は今月14日、感染予防のため都市封鎖を示唆するサンパウロ州知事を名指し「1人の男

◆ブラジルで新型コロナウイルスの感染者数が世界で2番目の多さとなり、深刻化しています。感染拡大の背景には貧困問題が関係しています。

【1】ブラジルの貧民街は何と呼ばれていますか。

【2】貧困問題がブラジルの感染拡大の背景にあると言われています。その理由を2つ書きましょう。

[]

[]

【発展問題】貧困をなくすためにできることは何でしょうか。あなたの考えを裏に書きましょう。



©The Yomiuri Shimbun



読売新聞社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

年 組 () 名前

サイン

◆ 昨年オーストラリアで起きた森林火災では、多くのコアラがやけどを負い、世界中から支援の手が差し伸べられました。世界中で人気のコアラですが、そもそもなぜ守る必要があるのでしょうか。



(2020年5月7日 読売新聞夕刊より)

【1】コアラは、森の環境にどのような影響を与えていますか？

【2】生物多様性は、なぜ大切なのでしょうか？図を参考に考えましょう。

そもそもですが...

なぜコアラを守るのか？

豊かな森を支える存在

昨年秋から今年初めにかけてオーストラリアで起きた森林火災では多くのコアラがやけどを負い、世界中から支援の手が差し伸べられた。ほほ笑むような表情や、おっとりとした動きで人気のコアラだが、そもそも、なぜ守る必要があるのか。そこには「かわいい」だけにとどまらない理由があった。

(松田俊輔)

コアラが暮らす森はユーカリに覆われている。今回の取材を始めるまで知らなかったが、ユーカリは「青酸」という猛毒を持つ。食べれば人は死んでしまうが、コアラは独自の進化を遂げ、青酸を解毒できる。コアラの生態に詳しい北海道大助教の早川卓志さん(33)は、「コアラはユーカリを食べられる数少ない動物」という。だが、ユーカリの葉の消化や青酸の解毒には多くの時間がかかる。その間、コアラはぬいぐるみのように動かさずに過ごす。肉食獣が少ないオース

トラリア特有の環境だからこそ、のんびりとした、そんな暮らしができる。

土に栄養戻す

ユーカリを解毒できる能力は、コアラの「のんびり生活」を支えるだけではない。多くの生物を助けている。ユーカリの葉には「窒素」という元素を含む栄養分や水分が多く含まれていて、これらはコアラのふんや尿になって地面に落ち、土に吸収される。そして、ユーカリはもちろん、長い葉を放射状にのばす「グラ

スツリー」など様々な植物の成長を助けている。成長した植物を自当てにアリなどの昆虫や、カンガルーなども集まる。さらに、昆虫を食べるハリモグラなどもやってくる。森には、コアラの子どもを狙う猛禽類がすみかを作る。

コアラのふんから始まった食物のつながりで、ユーカリの森は、多様な生き物で満たされていく。こうした環境を、私たちは「生物多様性」と呼ぶ。早川さんは「コアラの存在は『生物多様性』の維持に欠かせない」と話す。

人にも恵み

「生物多様性」は国際政治の舞台で議論されるほど重要なテーマだ。何が、そんなに大事なのか。生命の研究は進んでいるが、人類にはまだ知らないことばかりだ。2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智・北里大特別荣誉教授は、土の中の微生物から役に立つ物質を数多く見つけ出した。このなかの一つから、アフリカなどに多い寄生虫病の特効薬が生まれ、受賞につながった。「微生物が作る物質には未知のものが多く」と大村さんは受賞決定後に語った。

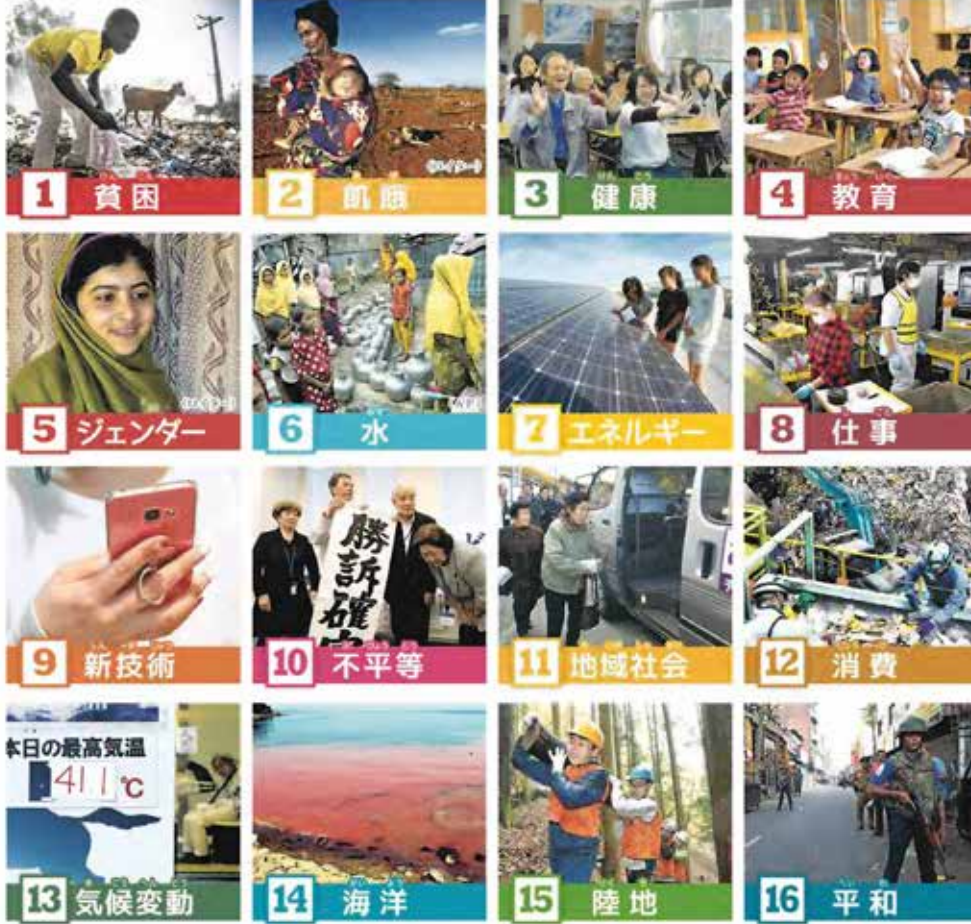
生物は絶滅してしまえば、よみがえらせることは二度とできない。多様性を維持できれば、生物が持つ可能性を失わずにすむ。



©The Yomiuri Shimbun

世界 17 の宿題を学ぼう

© UNICEF/UNDP/WHO/World Bank Photo Library



「このすばらしい旅の始まりに僕たちは誓うよ。誰ひとり取り残しはしないと」

2015年、こんな宣言とともに、人類の「旅」は始まりました。2030年までに達成すべき世界の17の「宿題」を設定した「SDGs (持続可能な開発目標)」が

国連で決められたのです。たとえばおいしいチョコを食べると幸せな気分になれます。でもそのチョコは、遠くの国の力才畑で子どもが無理やり働かされてきたものかもしれません。

じゃあチョコを食べなければいいのでしょうか。がまん

エスディージーズ
SDGs 期限は2030年

するだけでは、だれも幸せにはなりません。どうすれば誰も取り残さず幸せになるかを考える、それが私たちの「旅」なのです。

読売KODOMO新聞 (2019年7月25日) を一部加工



読売中高生新聞に、SDGsにまつわるコーナーが登場しました。その名も「読売中高生SDGs新聞」。毎月3週目に掲載し、全国の中学、高校の活動を紹介していきます。

SDGsは、かけがえのない地球を維持していくため、2030年までに達成すべきだと国連が定めた目標のこと。「貧困をなくそう」「海の豊かさを守ろう」など17の目標が挙げられています。

どれも地球規模の課題ですが、「自

分たちにもできることはある」と考え、地道に取り組む中高生が増えていきます。そんな中高生を応援しようと4月にスタートしたのが「SDGs新聞」です。

取り上げてほしい学校は、中高生新聞編集室 (chukousei@yomiuri.com) に連絡してください。



読売新聞社は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。